



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月7日

上場会社名 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3222 URL http://www.usmh.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上田 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)熊谷 直義 (TEL)03-3526-4766
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	329,380	—	7,158	—	7,277	—	3,378	—
27年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期3,561百万円(—%) 27年2月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	25.66	—
27年2月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	252,901	132,129	52.0
27年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 131,509百万円 27年2月期 —百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期	—	7.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	—	12,000	—	12,200	—	5,000	—	37.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期2Q	131,681,356株	27年2月期	一株
② 期末自己株式数	5,939株	27年2月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	131,676,879株	27年2月期2Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいております。そのため、様々な要因により実際の業績は上記予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましてはP.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

また、当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同期四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日に、㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱（以下「3社」といいます。）の共同持株会社として発足いたしました。なお、当連結会計年度が設立第1期となるため、前連結会計年度及び前四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、全体として回復基調にあるものの、為替や株式市場の不安定さもあり、不透明な情勢です。また、消費環境についても、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかないなど、実質賃金の伸び悩みもあり、個人消費に力強さを欠く状況が続いております。

当社グループは、平成27年4月6日に、「統合シナジーによる新たな価値創造」を基本とする中期経営方針を策定し、4つの基本戦略の具現化への取り組みを開始いたしました。その戦略は、①新たな商品価値の創造、②新たなサービスの創造、③次世代を担う人財の育成、④経営効率の改善であります。これらはユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス㈱として、首都圏での経営基盤を確固たるものとし、そのための具体的な戦略的施策において統合シナジーの創造を図るものであり、その具現化に向けて、プロジェクト・チームを組成し推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の主な内容成果としましては、「商品」において、3社の共同調達による対象品目を広げ、さらなる原価低減に取り組みました。また、販売促進等の「営業企画」では、定期的な3社共同販促企画を実施し、客数増に寄与いたしました。その他、スーパーマーケット経営の根幹である、「人財育成」「物流」「情報システム」「店舗開発」「事業創造」等の領域でのプロジェクトも活発に活動し、業績向上に寄与するさらなる「統合シナジーの創造」に向けて取り組みを進めました。

主要連結子会社である3社の各店舗においては、生鮮・惣菜を強化するとともに、生活ニーズを反映した商品や売場を展開することにより、他業態等との差別化を図り、既存店売上高前年同期比は、当第2四半期連結累計期間で103.2%と好調に推移いたしました。

㈱マルエツは平成27年度を「更なる『飛躍』に向けた『変貌』の年」と位置づけ、「競争力の進化」「生産性の進化」「マネジメント力の進化」に取り組みました。主な施策としては、青果部門の集客力向上に向けた取り組みの推進、惣菜部門の主力商品のリニューアルによる活性化、センター加工商品の品揃え拡充等、生鮮・惣菜の強化を図るとともに、改装・リニューアルによる既存店活性化を推進いたしました。更に、都心店統括部の店舗で実施している「勧告型自動発注システム」を標準店統括部の店舗へ拡大、10店舗での「セミセルフレジ」の実験導入、伝票レス化の推進等を行うことにより、生産性の改善を図りました。

㈱カスミでは、お客様の声に真摯に耳を傾け、対話と交流を通して地域の皆さまに「いいね！」と共感していただける店舗づくりを目指す「ソーシャルシフトの経営」に基づく取り組みを推進いたしました。営業面では、自主自律型の店舗運営を志向するソーシャルシフト店舗を117店舗に拡大しました。店舗ごとに従業員が自主的に企画したイベントや売場づくりなどを社内フェイスブックにてリアルタイムで共有し、お客様目線の売場・サービス・情報・提案に取り組むことで、地域の中で「わたしの店」と感じていただける店舗づくりを進めました。

マックスバリュ関東㈱では、お客様満足の実現に向けて「変革」と「実行」をスローガンに掲げ、既存店強化策として重点店舗の青果売場を中心にレイアウト及び品揃えの変更を実施いたしました。営業面では、お客様のライフスタイル、生活行動の変化にお応えするため、売場展開と品揃えの強化を推進いたしました。また、当事業年度から営業サポート部を新設し、オペレーション技術の向上、働き方の改革を通じ現場力強化に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間において、㈱マルエツが8店舗、㈱カスミが5店舗、当社グループ計で13店舗を新設しました。一方、経営資源の効率化を図るため、㈱マルエツが4店舗、㈱カスミが1店舗、マックスバリュ関東㈱が4店舗、当社グループ計で9店舗を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、中国江蘇省の2店舗を含めまして485店舗となりました。

また、当社グループは環境・社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。㈱カスミでは、今回で4回目となる「陸前高田七夕まつり体験学習2015」を平成27年8月に開催、出店エリアの小学生24名と当社従業員が岩手県陸前高田市の七夕まつりに参加いたしました。㈱マルエツでは、ウナギ資源保護活動の支援を目的に、「土用丑の日」期間（平成27年7月20日～7月24日）に販売したウナギ製品の売上金から1点につき10円、総額約200万円の寄付を行いました。その他、当社グループの各店舗では、食品トレー、牛乳パック等のリサイクル資源の回収も継続して行っております。

なお、当社グループはスーパーマーケット事業を単一セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

このような状況において、各施策に取り組みました結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、営業収益が3,293億80百万円、営業利益が71億58百万円、経常利益が72億77百万円、四半期純利益が33億78百万円となりました。

(参考情報)

主要連結子会社では、当第2四半期連結累計期間における㈱マルエツの単体の営業収益は1,807億32百万円（前年同四半期比6.5%増）、㈱カスミの単体の営業収益は1,228億8百万円（前年同四半期比6.9%増）、マックスバリュ関東㈱の単体の営業収益は238億38百万円（前年同四半期比5.2%減）の結果でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,529億1百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が312億62百万円、たな卸資産が159億27百万円など流動資産が697億13百万円、有形固定資産が1,159億51百万円、投資その他の資産が482億40百万円など固定資産が1,831億87百万円であります。

負債は、1,207億72百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が504億15百万円など流動負債が868億85百万円、長期借入金が181億円など固定負債が338億86百万円であります。

純資産は、1,321億29百万円となりました。その主な内訳は、資本金が100億円、資本剰余金が1,043億19百万円、利益剰余金が155億39百万円など株主資本合計が1,298億52百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は29億64百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益64億77百万円、減価償却費42億28百万円、仕入債務の増加49億29百万円、未払消費税等の減少29億円、法人税等の支払額37億71百万円などにより、98億57百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出84億54百万円などにより、85億76百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済33億円、配当金の支払8億29百万円などにより、42億61百万円の支出となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、312億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成27年4月6日に公表いたしました通期予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	31,262
受取手形及び売掛金	1,392
たな卸資産	15,927
その他	21,203
貸倒引当金	△72
流動資産合計	69,713
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	59,723
土地	42,479
その他（純額）	13,749
有形固定資産合計	115,951
無形固定資産	
のれん	15,892
その他	3,103
無形固定資産合計	18,995
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	193
差入保証金	34,340
その他	14,099
貸倒引当金	△393
投資その他の資産合計	48,240
固定資産合計	183,187
資産合計	252,901

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年8月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	50,415
1年内返済予定の長期借入金	10,100
未払法人税等	2,919
賞与引当金	1,926
転貸損失引当金	8
店舗閉鎖損失引当金	156
その他	21,358
流動負債合計	86,885
固定負債	
長期借入金	18,100
役員退職慰労引当金	327
転貸損失引当金	271
債務保証損失引当金	110
退職給付に係る負債	1,319
資産除去債務	4,315
その他	9,443
固定負債合計	33,886
負債合計	120,772
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	104,319
利益剰余金	15,539
自己株式	△6
株主資本合計	129,852
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	85
為替換算調整勘定	379
退職給付に係る調整累計額	1,192
その他の包括利益累計額合計	1,657
少数株主持分	619
純資産合計	132,129
負債純資産合計	252,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
売上高	322,285
売上原価	231,506
売上総利益	90,779
営業収入	7,094
営業総利益	97,873
販売費及び一般管理費	90,715
営業利益	7,158
営業外収益	
受取利息	47
受取配当金	41
その他	275
営業外収益合計	364
営業外費用	
支払利息	132
その他	112
営業外費用合計	244
経常利益	7,277
特別損失	
減損損失	596
店舗閉鎖損失引当金繰入額	156
店舗閉鎖損失	47
特別損失合計	800
税金等調整前四半期純利益	6,477
法人税、住民税及び事業税	2,460
法人税等調整額	687
法人税等合計	3,148
少数株主損益調整前四半期純利益	3,329
少数株主損失(△)	△49
四半期純利益	3,378

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成27年3月1日
 至 平成27年8月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	3,329
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	86
為替換算調整勘定	18
退職給付に係る調整額	127
持分法適用会社に対する持分相当額	△1
その他の包括利益合計	231
四半期包括利益	3,561
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,604
少数株主に係る四半期包括利益	△43

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	6,477
減価償却費	4,228
減損損失	596
のれん償却額	406
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	260
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△24
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	123
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△147
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△193
受取利息及び受取配当金	△89
支払利息	132
売上債権の増減額(△は増加)	△951
たな卸資産の増減額(△は増加)	145
未収入金の増減額(△は増加)	1,017
仕入債務の増減額(△は減少)	4,929
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,900
その他	△401
小計	13,643
利息及び配当金の受取額	128
利息の支払額	△143
法人税等の支払額	△3,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,454
無形固定資産の取得による支出	△864
敷金及び保証金の差入による支出	△840
敷金及び保証金の回収による収入	1,569
その他	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△3,300
配当金の支払額	△829
その他	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,964
現金及び現金同等物の期首残高	20,481
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	13,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が10,000百万円、資本剰余金が104,319百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

当社グループは、スーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。